

〈テーマ〉児童のノートをICT機器により共有することで考えを広める取組
(名取市立ゆりが丘小学校)

ゆりが丘小学校では、校内全体で以下のことについて取り組んでいます。

(尚、ゆりが丘小学校では、全クラスにipadとプロジェクター、黒板貼付スクリーンが常備されています。)

① 児童のノートをそのままスクリーンに映し出すことでの時間短縮

→学び合う時間・振り返りの時間確保

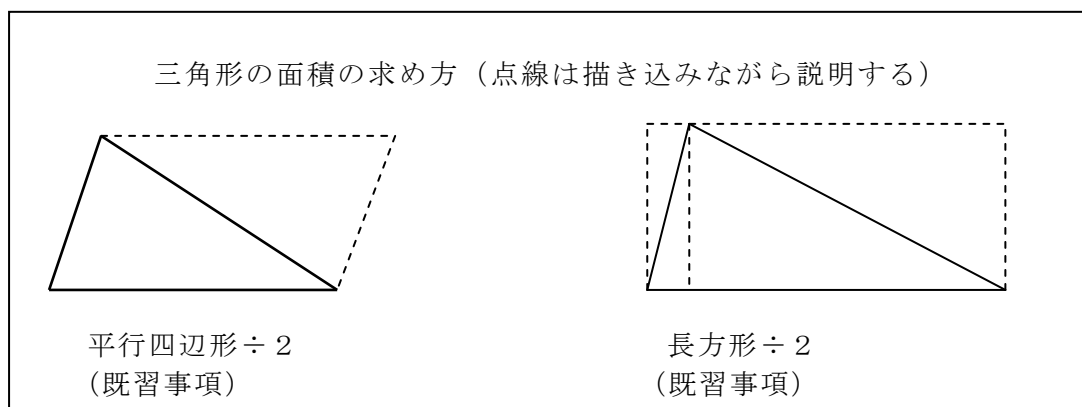
以前は、全体での練り合いの場面で、説明させたい児童のノートをもう一度大きな画用紙やホワイトボードに書かせて説明させていた。しかし、ICT機器の導入により、児童のノートをそのまま撮影し、大きく映し出すことができるので、時間短縮になった。時間短縮ができたことで、じっくり練り合う時間や振り返りの時間を確保できるようになってきた。また、自分の考えが書かれてあるノートをそのまま映し出されることで、自分の意見が取り上げられる喜びや達成感、自己有用感をもつことができ、進んで発表しようとする意欲が向上した。また、ノートを映し出す際に、児童の名前の書いてある名札をノートと一緒に撮影することで、より児童の意欲が向上していった。

② 児童による映し出されたノートに書き込みながらの説明

→理解力の高まり・考えの広がり

まず、児童が自分でipadを操作できるようになるのに、あまり時間が掛からなかった。児童は、ICT機器に普段から接していることもあり、覚えるのが早く、興味関心が高いので、自分からICT機器を操作して説明したいという意欲が高まった。また、ICT機器だと説明する際に、自分で色々な色で大切なところに線を引いたり、矢印を描いたりしながら説明することができる。聞く児童にとって、スクリーンで拡大された画像と一緒に説明を聞くことで、理解や思考を助けることにつながった。特に、ICT機器は、図形の学習に大変効果的で、図形に線を付け足したり、矢印を描いたり、考えの過程を説明したりすることができるので、聞く児童はとても分かりやすく、考えを広めることにつながった。

スクリーン（ICT機器を使っての説明例）



【結果と考察】

- ・ ICT機器は、児童のノートを撮影し、そのまま映し出すことができるので、時間短縮ができた。そのことで、終末に時間がなくなるという課題も解決でき、本時のまとめや適用問題、自己評価まで、時間内に終わるようになってきた。
- ・ ICT機器に自分の書いたノートがそのまま映し出されることにより、進んで発表しようとする意欲が高まり、達成感や自己有用感をもつことができた。その結果、ICT機器を使って自分の意見を「説明したい」、友達の意見を「聞いてみたい」という思いが強くなってきた。